

2.2 「食と健康」に係る先進事例調査結果 海外事例

(4) 調査事例の分析

16) Huel (ヒュエル) / 未来の食(イギリス)

取組名	Huel(ヒュエル) / 未来の食(イギリス)										
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> Huelは、ヒトが健康を維持するために必要な栄養素を一度に摂取することができる完全栄養食 環境と健康の両方を実現することができるため世界の注目が集まっている 開発者は、栄養と食事の分野で25年以上の経験を持つ登録栄養士のジェームズ・コリアー 										
取組の内容	取組のタイプ	★ 商品やサービスの提供 健康経営 社会貢献									
	特徴	提供する食、主な分析対象						先進性			
		栄養素 (例: ビタミンB)	食材 (例: 人参)	食品・料理 (例: 加工食品)	メニュー (例: 健康献立)	食文化 (例: 地中海食)	生体等 (例: 血中糖度)	新たな科学的知見	新たな技術	新たなサービス	新たな価値観
				○				○			◎
主要ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 栄養価が高く、便利で費用対効果の高い食事を望む消費者 料理が苦手でも栄養は摂取したい若者 										
先進性	<ul style="list-style-type: none"> Huelは忙しい時にも手間暇かけずにバランスのとれた栄養を摂取できる、便利な完全栄養食 動物性食品を一切使用しておらず、包装も最小限に抑え、保存期間も長期なので食品廃棄量を減らす事ができる、環境に優しい「便利フード」 										

2.2 「食と健康」に係る先進事例調査結果 海外事例

(4) 調査事例の分析

16) Huel (ヒュエル) / 未来の食(イギリス)

- Huelは、人が必要とする26種の必須ビタミン&ミネラルのほか、タンパク質、食物繊維などを完璧なバランスで含む。
- 主な目的は時間の有効活用だが、保存が効くため、防災用としてもすぐれている

- Huelは、適切な量のタンパク質、必須脂肪酸、炭水化物、ビタミン&ミネラルを含む完全食でビーガンかつラクトースフリー（無乳糖）、GMO（遺伝子組み換え作物）フリーで、25年以上の実績を持つ登録栄養士からも認証を受けている。
- 食事のための買い出しや調理などの時間を節約することが目的。
- フレーバーは全10種類（チョコミント、ストロベリー、キャラメル、モカ、バナナ、パイナップル&ココナッツ、チョコレート、カカオ、抹茶、ルバーブ&カスタード、トフィー）で美味とされる。低脂肪版もある。
- 1食あたり約300円程度で、通信販売で入手できる手軽さが若者を中心に人気となっている。
- 料理をしたり、カロリー計算が不要なため、ボディビルディングをしている人、スポーツ選手にも人気。



必須栄養素が
すべてひとつに



パウダーを溶かして飲料にするのが一般的
最近ではバータイプも好まれる



フレーバーは
全10種類

2.2 「食と健康」に係る先進事例調査結果 海外事例

(4) 調査事例の分析

17) Beyond Meat ビヨンドミート / 完全植物性の人工肉 (アメリカ)

取組名	Beyond Meat / 完全植物性の人工肉 (アメリカ)										
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> 植物性タンパク質を原料として肉を模倣した食品Beyond Meatを開発 エンドウ豆や「畑の肉」とも呼ばれる大豆を原料として、動物の肉を使用せずに、鶏肉、豚肉、牛肉の味や食感を模倣した食品を提供 										
取組の内容	取組のタイプ	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ★ 商品やサービスの提供 健康経営 社会貢献 </div>									
	特徴	提供する食、主な分析対象						先進性			
		栄養素 (例: ビタミンB)	食材 (例: 人参)	食品・料理 (例: 加工食品)	メニュー (例: 健康献立)	食文化 (例: 地中海食)	生体等 (例: 血中糖度)	新たな科学的知見	新たな技術	新たなサービス	新たな価値観
			◎								
主要ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ベジタリアン、ヴィーガンおよび初心者 お肉が好きだが、健康上控える必要のある方々 コーシャミール(ユダヤ教) を必要とする方々 										
先進性	<ul style="list-style-type: none"> 100%植物性、一切動物の肉を使用せずにより本物に近い味と触感を実現 種類も豊富で充実している GMOフリー、発がん性物質フリー、グルテンフリーの健康食品 (一部大豆フリー) 										

2.2 「食と健康」に係る先進事例調査結果 海外事例

(4) 調査事例の分析

17) Beyond Meat ビヨンドミート / 完全植物性の人工肉 (アメリカ)

- 動物から植物ベースの肉に移行することで、人間の健康、気候変動、天然資源の制約、動物福祉という4つの世界的な問題に対処することが目的。おいしさと健康、環境と動物に配慮する取組。
- 人工肉の原材料は、主に5種類：植物性のたんぱく質(えんどう豆、グリーンピース、そら豆、玄米)、脂肪(ココアバター、ココナッツ油、ひまわり油、キャノーラ油)、ミネラル(カルシウム、鉄分、天然塩、塩化カリウム)、炭水化物(じゃがいも片栗粉、食物繊維誘導体)と水 着色料はビート、りんごなどから抽出した天然色素。

健康 CO2削減 資源保護 動物愛護



商品の種類とレシピも豊富

人工牛肉でつくったミートボールパスタ

THE BEYOND BURGER™ WEIGH-IN

THE BEYOND BURGER™
PLANT-BASED BURGER PATTIES

ANIMAL-BASED BEEF™
RAW UNSEASONED 80/20 BEEF

THE BEYOND™ BURGER	VS	ANIMAL-BASED BEEF™
20	PROTEIN (G)	19
25%	IRON (DV)	12%
5	SATURATED FAT (G)	9
0	CHOLESTEROL (MG)	80
22	TOTAL FAT (G)	23
290	CALORIES	287
✓	PLANT-BASED	✗
✓	ANTIBIOTIC-FREE	?
✓	HORMONE-FREE	?
✓	GMO-FREE	?
✓	SOY-FREE	✓
✓	GLUTEN-FREE	✓

4 OZ BEYOND BURGER RETAIL PATTY USDA NATIONAL NUTRIENT DATABASE

人工植物性牛肉と本物の牛肉の比較

2.2 「食と健康」に係る先進事例調査結果 海外事例

(4) 調査事例の分析

18) Eat More Color (もっと色を食べよう) / アメリカ心臓協会の取り組み

取組名	Eat More Color (もっと色を食べよう) / アメリカ心臓協会の取り組み										
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> 日常の食から健康を維持・増進できるように、野菜と果物に含まれる天然の色に着目し、分かりやすく区分しポスターにする等して情報を発信 										
取組の内容	取組のタイプ	商品やサービスの提供 健康経営 ★ 社会貢献									
	特徴	提供する食、主な分析対象						先進性			
		栄養素 (例: ビタミンB)	食材 (例: 人参)	食品・料理 (例: 加工食品)	メニュー (例: 健康献立)	食文化 (例: 地中海食)	生体等 (例: 血中糖度)	新たな科学的知見	新たな技術	新たなサービス	新たな価値観
	主要ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 心疾患を抱える方々と家族 健康に関心の高い方々 									
先進性	<ul style="list-style-type: none"> 病気の治癒、改善には医薬品に頼らざるを得ない現状があるものの、日頃より食品の持つ天然の色を意識し、できるだけ多くの種類の野菜、果物を経口摂取することで健康に役立てるという取り組みは、「食と健康」また効果的な食育として優れている 										

(4) 調査事例の分析

18) Eat More Color (もっと色を食べよう) / アメリカ心臓協会の取り組み

- 色をグループ別に具体的な野菜と果物を示し、積極的に摂取し、健康に役立ててもらう取組
- アメリカ心臓協会(American Heart Association)主催



- 情報発信元はアメリカ心臓協会であるが、心臓病に限らず、生活習慣病には効果が認められると共に、子どもから大人まで食育、農業の保護にもつながる非常に分かりやすいチャートである



Yellow & Orange

- acorn squash
- butternut squash
- apricots
- cantaloupes
- carrots
- corn
- grapefruit
- lemons
- mangoes
- nectarines
- oranges
- orange peppers
- papayas
- peaches
- pineapples
- pumpkins
- summer squash
- sweet potatoes
- tangerines
- yams
- yellow apples
- yellow peppers
- yellow squash

Green

- asparagus
- avocados
- bok choy
- broccoli
- Brussels sprouts
- celery
- collard greens
- cucumbers
- green beans
- green cabbage
- green grapes
- green onions
- green peppers
- kale
- kiwis
- leeks
- limes
- mustard greens
- okra
- pears
- peas
- romaine lettuce
- snow peas
- spinach
- sugar snap peas
- watercress
- zucchini



Red & Pink

- beets
- cherries
- cranberries
- pink grapefruit
- pomegranates
- radicchio
- red radishes
- red apples
- red grapes
- red peppers
- red potatoes
- rhubarbs
- strawberries
- tomatoes
- watermelons

Blue & Purple

- blackberries
- blueberries
- black currants
- dates
- eggplants
- grapes
- plums
- prunes
- purple figs
- raisins

White

- bananas
- cauliflower
- garlic
- Jerusalem artichokes
- mushrooms
- onions
- potatoes
- parsnips
- shallots
- artichokes

2.2 「食と健康」に係る先進事例調査結果 海外事例

(4) 調査事例の分析

19) Food4Meプロジェクト / 個人向けの栄養分析 EUFIC

取組名	Food4Meプロジェクト / 個人向けの栄養分析 EUFIC										
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> EUが出資するFood4Meプロジェクトは、個別の栄養アドバイスをインターネットで配信 WHOが食生活に起因する成人病を予防する目的で、特定の遺伝子情報に起因する食事関連の情報を提供 										
取組の内容	取組のタイプ	商品やサービスの提供 健康経営 ★ 社会貢献									
	特徴	提供する食、主な分析対象						先進性			
		栄養素 (例: ビタミンB)	食材 (例: 人参)	食品・料理 (例: 加工食品)	メニュー (例: 健康献立)	食文化 (例: 地中海食)	生体等 (例: 血中糖度)	新たな科学的知見	新たな技術	新たなサービス	新たな価値観
	主要ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 食と健康に関心を持つEU圏内で生活する一般市民 EU圏内の食・栄養・IT関係者 									
先進性	<ul style="list-style-type: none"> 3つのレベルで個人に適した栄養アドバイスが受けられる 食事のみ 食事・表現型（身体的および生化学的な測定値、身長、体重、コレステロール値などの測定可能な特性） 食事、表現型、および遺伝子型（人の遺伝性と遺伝子の同一性、体重増加に関連する遺伝子変異体など） 										

2.2 「食と健康」に係る先進事例調査結果 海外事例

(4) 調査事例の分析

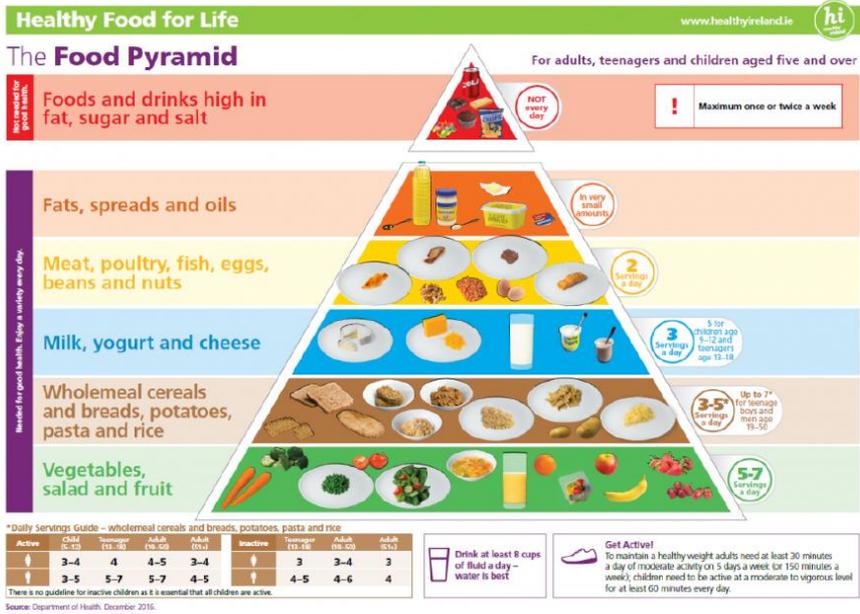
19) Food4Meプロジェクト / 個人向けの栄養分析 EUFIC

- 遺伝子や体質、アレルギー情報に合わせて個人にあった健康的な食と栄養 (Personalized Nutrition)を推奨
- 個人の健康を最適化するだけでなく、肥満、2型糖尿病、心血管疾患、がん、栄養失調などのリスクを軽減することが目的



世界保健機関 (WHO) は推定時期尚早心臓病の症例、脳卒中、2型糖尿病、および癌はなど食生活に起因するため、ライフスタイルの改善で回避することができると結論し、成人病リスク減のため、特定の遺伝子が食事関連疾患のリスクにどのように影響するかなど、個人間の遺伝的差異を考慮した個別栄養を調査し、公表することとしたプロジェクト。食事と栄養の専門家とデジタル時代にそれらを適応できるIT専門家のコラボレーションにより実現。

個別化医療の考えに基づき、ヒトゲノムがマッピングされることにより、科学者たちは微妙な個人のゲノムの違いを研究することができるようになったため、パーソナライズされた栄養が将来の栄養モデルとなり、将来の栄養知識の配信がデジタルになると予測され、栄養をデジタルの未来へと進化させ、Webアンケート調査による食事調査から 将来の食事パターンを分析。



2.2 「食と健康」に係る先進事例調査結果 海外事例

(4) 調査事例の分析

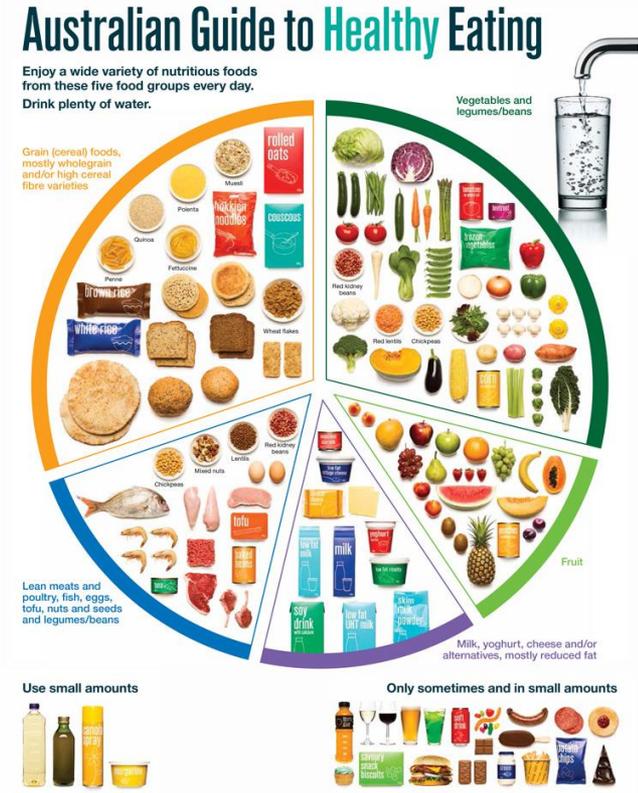
20) Eat 4 Health(食べて健康) / 政府主導の食と健康 (オーストラリア)

取組名	Eat 4 Health (食べて健康) / 政府主導の食と健康 (オーストラリア)										
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア政府が国民にとって最適と思われる食事ガイドを公式HPで発表https://www.eatforhealth.gov.au/ 										
取組の内容	取組のタイプ	商品やサービスの提供 健康経営 ★ 社会貢献									
	特徴	提供する食、主な分析対象						先進性			
		栄養素 (例: ビタミンB)	食材 (例: 人参)	食品・料理 (例: 加工食品)	メニュー (例: 健康献立)	食文化 (例: 地中海食)	生体等 (例: 血中糖度)	新たな科学的知見	新たな技術	新たなサービス	新たな価値観
	主要ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア人すべて (サイトを見る食と健康に関心を持つ人すべて) 									
先進性	<ul style="list-style-type: none"> 政府が食と健康のガイドラインだけではなく、あらゆる民族、食習慣にも対応しうる簡単で健康的なレシピや年齢・性別によらず健康に役立つ情報を公開している点ではFood Diversityの観点からも先進的である。 										

(4) 調査事例の分析

20) Eat 4 Health(食べて健康) / 政府主導の食と健康 (オーストラリア)

- オーストラリア人の食生活を基本に健康省が、食事をガイドライン、チャートで可視化すると共に、健康レシピなども公開し、国民の食と健康に広く貢献する取組



TIPS FOR EATING WELL

[READ MORE](#)

Recommendations on choosing foods for good health and to reduce our risk of chronic health problems.

HEALTHY EATING THROUGHOUT ALL OF LIFE

[READ MORE](#)

Information on healthy eating for Infants, Children and Teenagers, Pregnant or Breastfeeding women, and Older people.

HOW TO UNDERSTAND FOOD LABELS

[READ MORE](#)

Quick tips on how to understand food labels.

HEALTHY RECIPES

[READ MORE](#)



New meal and snack ideas and recipes based on the recommendations from the *Australian Dietary Guidelines* and the *Australian Guide to Healthy Eating*.

FOOD SAFETY

[READ MORE](#)

Useful information about ways to keep food safe.